

## 令和8年度 新田小学校放課後キッズクラブ運営法人選定にかかるQ&amp;A

| No. | 該当箇所                      | 質問                                                                                                          | 回答                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   |                           | 募集クラブの概要（活動場所やクラブの様子、状況、職員数等）について知りたい。                                                                      | 公表する情報としては「【参考】令和8年度新田小学校放課後キッズクラブ運営法人募集クラブの概要」とおりです。これ以外の情報については、現場見学会にご参加の上、ご確認ください。                                                                                                                             |
| 2   | 公募要項<br>【2(1)対象クラブ】       | 各クラブにおいて、定められている1日の定員に達した場合、それ以上の受け入れはできない運用となるのか。<br>また、定員を超える場合の受入れ可否や、区分ごとの優先順位（例：すすく【区分2】を優先する等）はあるか。   | 遊びの場（放課後子供教室）にあたるわくわく【区分1】に定員はありません。<br><br>放課後児童健全育成事業にあたるすすく【区分2A・B】は、面積基準（児童1人につき1.65㎡以上）から算定された「受入れ可能な児童数」で定員を定めております。日々の運営の中で定員超過が見込まれる場合には、学校と調整を行い、新たな活動場所を追加して対応しております。そのため、基本的には、定員超過による受入れ調整を行うことはありません。 |
| 3   | 公募要項<br>【4区分ごとの概要】        | すすく【区分2】の「ゆうやけ【区分2A】」と「ほしぞら【区分2B】」の違いは、利用時間および利用料のみの違いか。運営上の取扱いや人員配置等において相違はあるか。                            | すすく【区分2】の「ゆうやけ【区分2A】」と「ほしぞら【区分2B】」の違いは、利用時間および利用料のみの違いです。<br>その他の取扱いに違いはありません。                                                                                                                                     |
| 4   | 公募要項<br>【6(2)公募手続きについて】   | 現場見学会に参加しなくても応募することは可能か。                                                                                    | 可能です。                                                                                                                                                                                                              |
| 5   | 公募要項<br>【6(5)応募条件について】    | 会社法に基づく合併または分割（その他これらに類するものを含む）を直近2年間で行った。<br>この場合、合併または分割先である法人は、応募資格(1)に掲げる事業実績が2年間ないとみなされ、応募することはできないのか。 | 法人の同一性が認められる場合には、合併または分割前の法人の実績をもって応募することを可とします。<br>なお、その場合、法人の同一性を証する書類を提出する必要があります。具体的な提出書類の内容については、あらかじめ、港北区こども家庭支援課までお問合せください。                                                                                 |
| 6   |                           | 法人格を持たずに応募資格に掲げる事業を実施した期間があるが、事業実績の2年間の中にその期間を含めることはできるか。                                                   | できません。<br>応募資格に掲げる事業実績として認められる期間は、法人格を有して実施している期間に限られます。                                                                                                                                                           |
| 7   | 公募要項<br>【8(1)接触行為の禁止について】 | 選定評価委員会の委員との接触が禁止されているが、当該評価委員会の委員を事前に公表することはあるのか。                                                          | 事前に公表することはありません。                                                                                                                                                                                                   |
| 8   |                           | 選定評価委員会の委員との接触が禁止されているが、具体的にどのような行為を指すか。                                                                    | 選定評価委員会の委員であることを知りながら、当該委員に対して、便宜を図る、又は応募に関する情報を漏洩する等、選定の公平性に欠ける行為が該当します。                                                                                                                                          |
| 9   | 別紙2<br>【申請書類一覧】           | 提出書類の就業規則について、現在放課後キッズクラブを運営していない法人は、キッズの職員を雇用することを前提とした就業規則を作成し、提出する必要があるのか。あるいは、現行の就業規則でも良いのか。            | 法人が現に有する就業規則を提出してください。<br>なお、就業規則は放課後キッズクラブの職員の処遇内容を確認するものであるため、現行の就業規則で当該職員の処遇が確認できない場合は、必要に応じて港北区こども家庭支援課がヒアリング又は就業規則案等必要な書類の提出を求める場合があります。                                                                      |

|    |                                |                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 | 応募意向申出書兼<br>現場見学会参加申<br>込書について | 応募意向申出書兼現場見学会参加申込書を提出した場合には、必ず<br>10月20日までに申請書を提出する必要があるのか。                                   | 応募意向確認は、応募の有無を早く把握することで、意向が<br>無かった場合に、再公募を円滑に行うことを目的として新設<br>した手続きですが、応募の意向のみを確認するものです。応<br>募意向申出書兼現場見学会参加申込書の提出をもって、必ず<br>しも申請書の提出を強制するものではありません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 11 | 応募意向申出書兼<br>現場見学会参加申<br>込書について | 現時点では応募の検討段階であり、現場見学会に参加してから、ク<br>ラブの状況等を見て申請書の提出の判断をしたいが、その際は、応<br>募意向申出書兼現場見学会参加申込書の提出は必要か。 | 申請書提出の意思決定がされていない場合であっても、応募<br>を検討している場合には、応募意向申出書兼現場見学会参加<br>申込書を提出してください。<br>(応募意向がない場合は、再公募の手続きに移ります。)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 12 |                                | 現在勤務されている職員について、運営法人変更時に継続雇用を想<br>定されているか。また、過去に運営法人が変更となった際の継続雇<br>用の状況はどのようなであったか。          | 現職員の継続雇用は、安定的かつ継続的な運営の観点から、<br>可能な限り引き続き業務を担っていただくことが望ましいと<br>考えております。<br>一方で、雇用条件や待遇面は重要な要素であり、また職業選<br>択の自由があることから、最終的な雇用の成否は、選定され<br>た運営法人と各職員との個別の契約に基づくものであり、継<br>続雇用を義務付けるものではありません。<br>しかしながら、円滑な事業運営及び質の確保の観点から、現<br>職員の継続雇用に向けた配慮及び機会の確保に努めていた<br>くことを期待しております。<br>そのため、評価基準においても「現在のキッズクラブのス<br>タッフの継続雇用に向けた機会の確保に努めているか」を項<br>目として定めております。<br>(別紙3「申請書類の記入にあたっての視点・考え方及び評<br>価基準」における「放課後キッズクラブⅡ-2 法人の役割<br>(3)人材確保」を参照)                                |
| 13 | その他                            | 現在、障害のある児童や特別な配慮を必要とする児童、医療的ケア<br>が必要な児童の受入状況はどのような状況か。<br>また、それに伴う加配職員の配置状況はどうか。             | 国の「放課後児童クラブ運営指針」において、「障害のある<br>子どもも放課後児童クラブを利用する機会が確保されるた<br>めの適切な配慮及び環境整備を行い、可能な限り受入れに努め<br>る」こととされており、放課後キッズクラブ事業におい<br>ても、支援や配慮を必要とする児童の受入れにあたって、国の<br>指針に沿った運営をしております。また、医療的ケア児にお<br>いても「医療的ケア児支援法に沿った受入れをしておりま<br>す。<br>受入れにあたり追加で配置した人件費等の加算補助は放課後<br>キッズクラブ事業費補助金交付要綱において定めておりま<br>す。<br>配置状況等は、現場見学会でご確認ください。                                                                                                                                              |
| 14 |                                | 土曜日および夏休み・冬休み・春休み等の長期休暇期間における平<br>均的な利用人数（特にすすく【区分2】利用児童）はどのような<br>状況か。                       | 土曜日は、基本的に、わくわく【区分1】は実施せず、すす<br>く【区分2 A・B】の児童のみの受入れとなります。利用<br>人数は、クラブにより異なりますが、この取り扱いもあり、<br>10人に満たないクラブも多くあります。<br><br>長期休暇期間（学校休業日）においては、わくわく【区分<br>1】は、午後4時までの開所時間のうち、1人あたり2時間<br>程度の利用としております。すすく【区分2 A・B】の児<br>童は、所定の時間まで利用可能です。<br>わくわく【区分1】の利用は平日に比べ減少する傾向にあり<br>ますが、すすく【区分2 A・B】は就労等の事由によるこ<br>ともあり、平日と同様程度の利用があります。<br><br>なお、令和8年度から、夏季休業日は、暑さ対策により、わ<br>くわく【区分1】は週1回の受入れを基本とします。すすく<br>【区分2 A・B】に制限はありません。(わくわく【区分<br>1】の夏季休業期間の利用については、マニュアルP34参<br>照) |